

白寿記念 堀文子展

Press
Release

報道用資料
2017年9月



むらすずめ

1

2017(平成29)年11月18日(土)—2018(平成30)年3月25日(日)

前期Ⅰ:11月18日(土)—12月17日(日)／前期Ⅱ:12月19日(火)—1月21日(日)

後期Ⅰ:1月23日(火)—2月18日(日)／後期Ⅱ:2月20日(火)—3月25日(日)

休館日:月曜(1月8日、2月12日は開館)、年末年始(12月29日—1月3日)

▲ 本展が初出品となる《群雀》。竹と雀を数えると「九十九」となる、白寿記念にふさわしい大作。本展の見どころのひとつです。



2

未知のものを求め、自然と生命を描きつづける日本画家・堀文子の清新な世界を紹介する展覧会です。初期作品や絵本の原画をはじめ、メキシコ、イタリア、ネパールなど世界各地への旅や、四季と草花のうつろいを描いた代表作を展示し、その芸術と人間像に迫ります。

*展覧会に初出品となる作品を含む、日本画や水彩画など約一〇〇点と、関連資料約五〇点の計一五〇点を展示予定。会期中に展示替えがあります。



3



4



5

開館時間:午前9時30分—午後5時(入館は午後4時30分まで)

観覧料:一般 1,200円(1,100円)、20歳未満・学生 1,050円(950円)、65歳以上 600円、高校生 100円

* () 内は20名以上の団体料金です。

* 中学生以下、障害者手帳をお持ちの方(および介助者原則1名)は無料です。

その他の割引につきましてはお問合せください。

* 「白寿記念 堀文子展」観覧券で同日に限り、コレクション展「冬の旅、春の声」もご覧いただけます。

* ファミリー・コミュニケーションの日:毎月第1日曜日(今回は12月3日、1月7日、2月4日、3月4日)は、18歳未満のお子様連れのご家族は割引料金(65歳以上の方を除く)でご観覧いただけます。

主催:神奈川県立近代美術館、神奈川新聞社、tvk(テレビ神奈川)、FMヨコハマ

企画協力:ナカジマアート

後援:大磯町

同時開催:コレクション展「冬の旅、春の声」

神奈川県立近代美術館 葉山
The Museum of Modern Art, Hayama



堀文子 略歴

1918(大正7)年 東京に生まれる
 1936(昭和11)年 女子美術専門学校(現・女子美術大学)入学
 1948(昭和23)年 第1回創造美術展で奨励賞を受賞
 1952(昭和27)年 第2回上村松園賞を受賞
 1961(昭和36)年 初めて海外を旅行(エジプト、ヨーロッパ、アメリカ、メキシコなど)
 1967(昭和42)年 神奈川県大磯町に転居
 1979(昭和54)年 軽井沢にアトリエを構える
 1987(昭和62)年 第36回神奈川文化賞受賞
 イタリアのトスカナ地方、アレッツォにアトリエを構える(1992年まで)
 1995(平成7)年 アマゾン熱帯雨林、メキシコのタスコ、マヤ遺跡などを旅行
 1997(平成9)年 ネパールを旅行
 1998(平成10)年 ヒマラヤ、ペルーを旅行。ヒマラヤへは1999年、2000年にも再び訪れる
 2001(平成13)年 解離性動脈瘤で倒れるが、奇跡的に回復
 2010(平成22)年 『堀文子の言葉 ひとりで生きる』(求龍堂)を刊行



【関連イベント】

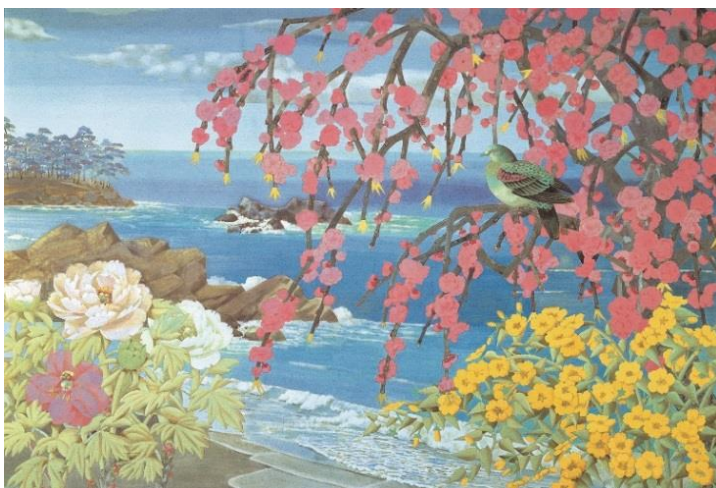
記念講演会「女流画家たちとの出会い」

講師：大村 智(北里大学特別栄誉教授、学校法人女子美術大学名誉理事長、荏崎大村美術館館長)

日時：2017年12月16日(土) 午後3時~4時

申込方法などの詳細は当館サイトでお知らせします。

*ほかにも、館長トーク、ギャラリー・トークなどを開催します。



【作品キャプション】*会期の記載のないものは通期展示の予定

- 1.《群雀》1975年 顔彩、板 柳生の庄
- 2.《初秋》1979年 紙本彩色 神奈川県立近代美術館
- 3.《霧水》1982年 紙本彩色 神奈川県立近代美術館
- 4.《流れ行く山の季節》1990年 紙本彩色 佐藤美術館[前期]
- 5.《春の来る径》1971年 紙本彩色 キヤノン電子株式会社[前期 I]
- 6.《すなはまのかいがら》1955年 水彩、紙
- 7.《山の思い出》1955年 紙本彩色・六曲一隻
- 8.《春》1969年 紙本彩色 名都美術館[後期]
- 9.《蓮》1980年 紙本彩色 神奈川県立近代美術館
- 10.《アフガンの王女》2003年 紙本彩色 個人蔵
- 11.《ヒマラヤタ映え(マチャブチャレ)》1998年 紙本彩色 いづみ画廊
- 12.《チアバスの夜》1966年 紙本彩色